

あ い さ つ

青 木 村

おはようございます。

本日、令和5年第4回青木村議会12月定例会を招集いたしましたところ、全議員の皆さんにご出席をいただき、誠にありがとうございます。日頃より皆さんには、村政の運営にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

今年も本当に色々なことができました。

新型コロナウイルス感染症の拡大はだいぶ落ち着き、安堵しております。そのような中、運動会や産業祭など村のイベントも、関係者の皆さんのご協力により様々な工夫を重ね、4年振りに盛大に復活することができました。

内閣府が11月22日(水)に発表した月例経済報告では、『景気は、このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している。雇用や所得環境が改善し、各種政策の効果もある。』としております。

政府は日本経済のデフレからの脱却を図るとともに、物価高に苦しむ家計への支援を柱に経済政策に取り組み、只今開催中の国会にて補正予算が成立しました。

今年度村といたしましても、物価高騰などの経済対策として、小・中学生の給食費無償化、全世帯への生活応援券の配布、商工会の地域消費券発行などの事業に取り組みでまいりました。今後、国・県の補正予算を受け、早急に村民の皆さんへ対応してまいります。

社会福祉協議会で実施しているフードバンク事業も、多くの皆さんのご協力のおかげで今年4回実施することができ、来年3月にも実施を予定しております。

また今年度は、凍霜、猛暑、少雨など異常気象に見舞われ、農作物に大きな影響があり、特に松茸は大変な不作でありました。村のブランド農産物のタチアカネ蕎麦は、生産者の皆さんのご努力により、平年並みの作柄となりました。

新型コロナウイルスにつきましては、感染症法上の位置づけが2類から5類へと変更されてから半年余りが経過いたしました。この間、7月以降に感染者が増加しましたが、9月中旬以降、感染者は、減少に転じ、現在は、比較時落ちついた状況

にあります。

村としては、感染の再拡大を防止するため、9月下旬からオミクロン株の「X B B」に対応したワクチンの集団接種を開始し、今月も実施する予定であります。

来年度以降のワクチン接種は、全額公費負担の特例臨時接種から、一部自己負担の生ずる定期接種への移行を国で検討中であることから、引き続き、国の動向等を注視してまいりたいと思います。

また、インフルエンザにつきましては、県は、11月8日、全県にインフルエンザ警報を発出し、現在も継続中であります。

村としては、15歳までと65歳以上の方を対象にインフルエンザ予防接種費用の助成を行なう等、感染防止対策に向けた取り組みを行っているところではあります。今後、しばらくは感染の流行が継続すると懸念されることから、手洗い、マスク着用等の基本的な感染防止対策を行なうよう、引き続き注意喚起を行ってまいります。

最近の課題であります2024年問題について申し上げます。

2024年問題とは、時間外労働の上限規制など「働き方改革関連法の適用」について5年間猶予されていた物流・運送や建設、医療などの業界が、2024年4月に適用開始することにより影響を受ける問題の総称です。

働き方改革が必要とされる背景には、少子高齢化による生産年齢人口の減少、育児や介護の両立など働き方のニーズの多様化があり、事業者は、長時間労働の是正、多様で柔軟な働き方の実現、雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保等のための措置を講じなければなりません。

それに伴う人手不足など大きな課題の対応方法としては、①労働環境の改善、②業務の効率化、③アウトソーシング（外注）の導入、などが挙げられます。このことは村にとっても大きな影響があり、来年度（令和6年度）の事業や予算の中で、この対応が必要となってまいります。

さて、予算編成の時期となりました。

国の令和6年度予算は、「経済財政運営と改革の基本方針 2023」等に基づき、経済・財政一体改革を着実に推進する、ただし、重要な政策の選択肢をせばめることがあってはならない、歳出全般にわたり、施策の優先順位を洗い直し、無駄を徹底して排除しつつ、予算の中身を大胆に重点化する、地方交付税交付金等については、「新経済・財政再生計画」との整合性に留意しつつ、要求をする、としており

ます。

次に県の令和6年度当初予算編成方針は、コロナ禍から社会経済活動の正常化が進み、県税収入は当初見込みを概ね確保できる見通しであるものの、あらゆる方策を講じて基金取崩しの抑制に努める、としております。

物価高騰や高齢化等による社会保障関係費の増加や、防災・減災対策の強化等に伴う建設事業債残高の増加により、財政構造が一層硬直化することなどから、厳しい財政運営を強いられることも懸念されている、基本的には、「伸ばすものは伸ばす、見直すべきものは見直す」姿勢を常に持ちながら、メリハリのきいた予算を編成する、としております。

村でもこれから、来年度の予算編成作業に入るわけですが、コロナ禍の影響からすべてが順調に回復していない中での、大変厳しい作業となります。

令和6年度は第6次長期振興計画前期基本計画の3年目であり、「笑顔あふれる村づくり」計画の実現に全力で取り組んでまいります。来年度も、創意と工夫で最大の効果が得られるよう、役場職員の英知を結集して、元気で豊かな村づくり、日本一住みたい村づくりに取り組んでまいります。

本年9月に大規模工場が操業開始したことから、来年度は固定資産税のプラスに期待しておりますが、その増額分の75%は交付税算定の基礎となる基準財政収入に加算され、地方交付税が減となることや、近々情報通信サービスの更新や資源循環施設建設負担金など、大型の財政出費が予定されていることから、厳しい財政運営は避けられない状況です。

いずれにいたしましても厳しい財政状況の中ではありますが、村民の皆さんが将来に夢を持てる先々を見通した施策を、スピード感を持って、年々増える社会保障への対応を図りながら、単に金額だけでなく内容が充実した予算編成を行ってまいります。

さて、12月も中旬となり心忙しい時期となりました。新型コロナウイルスの影響で止まっていた世間も、ほぼ正常に戻りつつあります。ここで、今年の村の主なできごとを振り返ってみたいと思います。

今年は、コロナ禍によって行動制限があった3年間を取り戻すかのように、多くのイベントが復活しました。夏まつり、そばの花・実まつり、村民体育祭、産業祭などでは、多くの人たちの活気で賑わいました。

3月31日(金)、大法寺三重塔が国宝に指定されてから70周年を迎えました。

満開のしだれ桜を横に行われた消火試験のための放水は、勇壮かつ華麗で、見応えのあるものでした。9月～11月には大日如来坐像の初公開特別展が開催されました。

4月22日(土)、名誉村民で前青木村長の宮原毅氏をご逝去されました。享年91歳でありました。

宮原毅氏は、平成5年5月から平成25年5月まで5期20年の長きにわたり村長を務められました。青木村の発展にご尽力いただいた功績を称え、村民葬でお送りいたしました。

明治5年に学制が発令されてから、青木小学校も今年で開校150周年を迎えました。6月には記念音楽会、9月には記念運動会、そのほか講演会などの記念行事が開催されました。

7月2日(日)、「消防ポンプ操法上小大会・上小消防ラッパ吹奏大会」が、青木村総合グラウンド及び総合体育館において行われ、青木村消防団ラッパ隊が見事、団体の部で優勝しました。

7月8日(土)、「交通安全子供自転車長野県大会」で、青木小学校の青木自転車クラブが団体の部で準優勝、個人でも一位という素晴らしい成績を残しました。

8月から、18歳未満の子ども及びひとり親世帯の親子の医療費自己負担が完全無料となりました。子育て世帯へのより一層の支援に繋がることが期待されます。

9月より、株竹内製作所青木工場が操業開始いたしました。

今後、年間10,800台の小型建設機械が生産され、海外へ輸出されます。村の活性化に様々な効果が期待されています。

例年9月に入ると、青木村の松茸を求める人で道の駅あおきが賑わいとなるころですが、今年は夏の猛暑と少雨の影響により大変な不作で、10月中旬に少量出荷された程度で、シーズン終了となってしまいました。

なお、タチアカネ蕎麦の作柄は平年並みでした。

今年は11月中旬まで暖かい日が続き、年々春と秋が短くなっているような気がします。

次に、先の9月定例会開会後から本日までの、主な行政等の報告をさせていただきます。

9月13日(水)、「高齢者祝賀事業」による訪問を行いました。

米寿31名、白寿6名、百歳3名、101歳2名、102歳1名、103歳1名、110歳1名の方々がご長寿のお祝いの日を迎えられました。これからもお元気でお過ごしいただきたいと思います。

9月15日(金)、「五島慶太翁 名誉村民称号記 並びに 名誉村民章贈呈式」を、五島慶太未来創造館で行いました。併せて、「東急グループ慶太塾 開塾式」、「企画展 五島慶太翁生家ストーリーズ オープニングセレモニー」を行いました。

名誉村民称号記並びに名誉村民章は、五島家のご配慮により五島慶太未来創造館に展示されております。これを機に村では、翁の顕彰活動をさらに推進するとともに、東急グループとの連携をさらに深めてまいります。

9月16日(土)に小学校の運動会が行われました。

今年は150周年記念運動会ということで、記念のタオルが子どもたち全員に配布されたり、全校ダンスでは来賓や保護者も一緒に行ったりするなど、記念運動会として工夫がされていました。また、子どもたちの座席はテントでおおわれており、熱中症対策が施された中で、半日の運動会がにぎやかに開催されました。

9月22日(金)、23日(土)には、中学校の「こまゆみ祭」が行われました。

今年、4年ぶりに復活したアイリスセミナーや、人工ルビーの合成の研究など日頃の成果が発表され、充実した内容でした。中学3年は今年から単級になり、少ない人数でしたが、義民太鼓や合唱の発表、文化祭の運営など、見事に力を発揮し、青木中学校の伝統をしっかりと引き継いでくれました。

9月24日(日)、「青木村総合防災訓練」を実施しました。

今年は、県消防防災ヘリコプターと連携しての給水・散水訓練や、情報伝達訓練、避難訓練等を行いました。近年多発する災害に備え、一人ひとりが防災意識を高め

行動することが大切だと感じました。

9月26日(火)～9月27日(水)、青木村議会の視察研修で埼玉県を訪れました。

2日間で、村の行政課題の参考となる4か所(久喜市役所、伊奈学園中学校、三芳町役場、川島町役場)を視察しました。また、関東地方整備局長への要望活動を初めて実施することができました。国道143号青木峠トンネルに対する議会の皆さんの力強い活動に感謝申し上げます。

9月30日(土)には、保育園の運動会が行われました。

一生懸命に走る姿やダンスを楽しむ姿から、日ごろの活動の成果が分かりました。また、年長さんは多くの種目に出場しており、自分たちが中心になって頑張るぞというしっかりした気持ちが伝わってきました。

10月8日(日)、6年振りに村民体育祭「ヤンレ!いきやしよ運動会」を開催することができました。

当初、開催に向けて様々なご意見をいただきました。半日での実施や、得点競技では人口別に地区を組み合わせるなど工夫し、多くの村民の皆さんに参加をいただくことができました。優勝した中村区の皆さん、おめでとうございます。

10月28日(土)～30日(月)、青木村及び上田市共有財産組合の視察研修で、岡山県を訪れました。

真庭市のバイオマス産業、ミュージアム等豊富な木材資源を利用した取り組みや、長期的な構想のもと産学官一体となった事業展開、人材に恵まれた真庭観光連盟の活動などが、深く印象に残りました。

11月1日(水)、千曲バスのグループ本社である東京の(株)グリーンキャブを訪問してまいりました。

働き方改革関連法が2024年4月から適用されることから、千曲バス青木線の現行ダイヤ確保について要望しました。社長からは「企業は利益を出さなければならぬ中で苦しんでいる。路線バスは赤字である。次年度からの労働時間問題に対応するにはドライバーを数十名増やさなければならないが、対応に苦慮している。」などと、大変厳しい状況の説明がありました。

この路線は、特に高齢者、高校生の足として重要でありますので、特段の配慮を

お願いしました。

11月8日(水)、「安全・安心の道づくりを求める全国大会・要望活動」が、東京で開催されました。

約900人の市町村長が出席しての、道路関係の来年度予算確保を目指す促進大会でした。地域の活性化のため、全国各地で多くの道路事業が要望されています。

11月11日(土)、「栲竹内製作所創立60周年記念式典」がありました。

ほとんど県外の約300人(社)出席の大規模な会でした。会に先立ち、新しく操業開始された青木工場の見学会も実施され、パーティーの席上では、多くの皆さんから青木村についての質問をいただきました。このような形で青木村を知っていただく機会を得て、大変嬉しく思いました。

11月15日(水)、「全国町村長大会」が渋谷NHKホールで開催されました。

来賓の岸田総理大臣のもと、全国926町村の首長が出席し、『地方交付税等の一般財源総額の確保』、『食料安全保障の確立、農山漁村の再生、都市と農山漁村共生社会への実現』、『少子化対策の推進、こども・子育て政策の強化』などの大会スローガンを決議しました。

11月18日(土)～19日(日)の2日間、4年ぶりとなる「青木村産業祭」を、『発見・体験・交流』をテーマに、ふるさと公園あおきで開催しました。

出展者も多く、大勢の皆さんにご来場いただきました。タチアカネ新そばの高い人気、長和町からの初参加、初めて開催した「青木村・カラオケ・バトル(AKB)」の熱気など、特筆すべきことがたくさんありました。道の駅あおきで同時開催された「パンマルシェ」との相乗効果もあって、大盛況でした。

11月21日(火)、「簡易水道整備促進全国大会・要望活動」がありました。

来年度から所管官庁が厚生労働省から国土交通省などへと変わります。当村では来年度から管路更新5か年事業の着工を予定しており、国の補助率のかさ上げを要望しております。

11月24日(金)から28日(火)まで、各地区の要望をお聞きしながら現地を確認しました。

今年、各地区からいただいたご要望は合計274件で、その内訳は、道路関係111件、水路・河川関係92件、防犯・交通安全関係15件などでありました。

優先順位の高い箇所から事業を進めてまいります。

次に、今議会に上程しました令和5年度12月補正予算等の概要について申し上げます。

一般会計第4号専決補正予算は、歳入歳出それぞれ3,262万5千円を追加し総額を33億4,410万5千円とします。

早急な対応を必要としたため、専決させていただきました。

専決補正予算における主な事業は次のとおりです。

歳入

目	説明	計上額
総務費国庫補助金	地方創生臨時交付金（低所得世帯支援分）の増	3,262万5千円増

歳出

目	節	説明	計上額
価格高騰重点 支援金	職員手当等	超過勤務手当	10万円増
	役務費	通信運搬費（郵送料等）	22万5千円増
		手数料（口座振替手数料）	
	委託料	委託料（システム改修委託料）	80万円増
	負担金補助 及び交付金	価格高騰重点支援金 住民税非課税世帯 @7万円×450世帯	3,150万円増

対象となったみなさまへは12月中の振込を目指して作業を進め、昨日12月6日に、申請に必要な書類の発送手続きをいたしました。

一般会計第5号補正予算は、歳入歳出それぞれ3,920万2千円を追加し、総額を33億8,330万7千円とします。

補正予算における主な事業は次のとおりです。

歳入

番号	目	説明	計上額
①	地方交付税	普通交付税	3,026万8千円増
②	教育使用料	郷土美術館使用料 (特別展開催による増)	105万円増
③	一般寄付金	(株)竹内製作所様より (見込より増)	500万円増
④	教育費寄附金	故 宮原 信之氏のご意思により	80万円増

歳出 (人事異動及び人事院勧告に伴う人件費の補正については、省略しています。)

番号	目	節	説明	計上額
①	財産管理費	積立金	公共施設整備基金積立金 (株)竹内製作所様寄付金を充当)	500万円増
②	戸籍住民基本台帳費	委託料	戸籍情報システム改修委託料	74万8千円増
③	障害者福祉費	扶助費	障害者補装具交付等給付事業	83万9千円増
④	環境衛生費	負担金補助及び交付金	小型合併処理浄化槽設置補助金	63万8千円増
⑤	道の駅関連施設運営費	需用費	道の駅トイレ関連修繕	220万円増
⑥	土木総務費	〃	国道143号線青木峠バイパス建設 促進野立看板修繕	80万円増
⑦	小学校 学校管理費	備品購入費	令和6年度教科書採択替に伴う教師用指導書購入	420万円増
⑧	美術館費	原材料費	特別展開催に伴うグッズ作成費等	61万2千円

以上、補正予算の内容を説明させていただきました。

詳細につきましては、教育長並びに担当課長からご説明致しますので、ご審議の上、ご議決いただきますようお願い申し上げます、あいさつとさせていただきます。